

標 題： Inhibition of p38/CREB phosphorylation and COX-2 expression by olive oil polyphenols underlies their anti-proliferative effects  
p38/CREB リン酸化および COX-2 発現のオリーブ油ポリフェノールによる抑制はその抗増殖作用の根拠となる

---

著 者： G Corona , et al. (英国 リーディング大学 食品薬学部)

---

掲 載 誌： Bioch. Bioph. Res. Com. **362**: 606-611 (2007)

---

要 旨： オリーブ油ポリフェノール抽出物のヒト結腸腺癌細胞に対する抗増殖作用を、我々は研究した。

抽出物はヒドロキシチロソール、チロソールおよびオレウロペインを含む各種セコイリド誘導体を含有すると、分析で示された。

この抽出物は癌細胞の増殖に対して強い抑制作用を発揮し、それは G2/M 細胞周期阻止を引起すことと関連した。抽出物による処理に続いて、G2/M 期細胞数が対照(15.1 ± 2.5%)と比較して 51.82 ± 2.69%に増加した。

G2/M 期阻止はオリーブ油ポリフェノール(50 µg/ml)の能力によって介在され、p38(38.7 ± 4.7%)および CREB(28.6 ± 5.5%)のリン酸化の速やかな抑制をもたらした。

オリーブ油のポリフェノールは、結直腸癌発症の原因となり信号伝達系と相互作用することによって大腸で化学予防作用を発揮するであろうと、我々のデータが示唆している。

キーワード： オリーブ油、ポリフェノール、結腸癌、大 腸、MAPK キナーゼ、COX-2

---